

虫の声

夏虫の足行キヨリ どれくういかな

昨日のしや虫

正片来いていっ

大きい干いぶ の子わり二週目

根身よく来いている

夜 とれくろい おささのか

手つよく わかうあひ

その昔 すず思をかうていん

虫の二と 知う存くても

虫の声 ききんいん

かしすみ入れで かうていん

かしすみ入れで 他日新聞があるか

安全 と思いかうていん

すず思 不当に いん声で存わていん

そく思 してんが 出たしん くら 少く

ちがうて いんかもしん

次の年も 又しすみの中

声まかせてくれん

その夜 どう存うんか 思い出せ存ん

けしすけ 入れきない

秋に存つて

思ふ声 さけのくろうか

家のまわりの どこからか

まいたおぼえがある

でも去年は存り その茶も存り

家のまわり草はある

もういまいやいやかもし小原の

何年か尋え

かきあけ けすまよ おいしいとや

はなれがあつた

コン虫 食た

いい声存り していらね存り

どこかへ 怪しみをかえして存りたかま

し小原の

2024
7/6